

今週（11月13日から11月17日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、積み最終日を目前に控え、週前半は前週と同様に資金調達ニーズの強い展開となり、▲0.01%台前半での出会いが中心となった。新積み期間となった16日以降は、基準比率の低下に伴い、レート水準もやや低下したが、ビッドサイドの調達意欲は底堅く、17日(金)の週末にかけて再び上昇する展開となった。
ターム物は、1W~2W程度のショートターム物を中心に▲0.03~▲0.02%近辺で出会いが散見された。
日銀当座預金残高は、547兆円程度からスタートし、15日(水)に5年債の発行により545兆円台まで低下し、その後は概ね横這い圏での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.16~▲0.105%のレンジでの取引となった。新積み期間入りや臨時の国債買入オペが意識された事で、14日(火)のT/Nは、前場にレートが低下する展開となった。週後半は、短国の発行要因もありレートは反転し上昇した。
SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

また、15日(水)にオファーされた国債買入オペでは、足許の需給環境を考慮してか、残存期間1年超3年以下と残存期間5年超10年以下の買入額が減額された。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンは堅調に推移し、1Yゾーンは入札前後で水準調整が行われた。
16日(木)に実施された1Y物入札はやや強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。
17日(金)に実施された3M物入札は強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットではこちらも堅調に推移した。
また、今週の短国買入オペは、足許の需給環境を考慮してかオファーが見送られた。

●CP市場

今週のCP市場は、石油、電気機器、鉄鋼等からまとまった発行があり、週間の発行総額8,600億円程度に対して、償還総額5,400億円程度と発行超のマーケットとなった。
発行総額は、26兆円台前半から半ばで緩やかな拡大基調で推移している。
発行レートは、日銀適格担保銘柄で3Mまでの案件については、概ね0%前後での出会いが中心であった一方、ロングターム物の案件では投資家の慎重姿勢を反映してレート水準にばらつきが見られた。また、非適格担保銘柄や一部ノンバンク銘柄では発行レートの上昇が見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
11/13 (月)	32,585.11	0.870	151.65	△ 0.014	△ 0.128	5,474,600
11/14 (火)	32,695.93	0.850	151.72	△ 0.012	△ 0.140	5,487,900
11/15 (水)	33,519.70	0.795	150.64	△ 0.011	△ 0.154	5,453,100
11/16 (木)	33,424.41	0.785	151.25	△ 0.027	△ 0.130	5,454,900
11/17 (金)	33,585.20	0.750	150.68	△ 0.015	△ 0.118	5,451,400

来週（11月20日から11月24日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/20 (月)					
11/21 (火)		20Y 12,000億円 11/22発行	交付税借入 13,000億円 11/30借入		10月の米中古住宅販売
11/22 (水)					10月の米耐久財新規受注
11/23 (木)	勤労感謝の日				New York祝日(Thanksgiving Day)
11/24 (金)	10月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 9月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	TB3M 56,000億円 11/27発行	流動性供給 5,000億円 11/27発行	交付税借入 13,000億円 12/4借入	

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/20 (月)	▲ 100	▲ 5,300	▲ 5,400	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 300 ▲ 500 36,800		36,000	30,600	TB3M発行▲56,000償還58,000 TB1Y発行▲35,000償還31,500 エネルギー対策借入▲6,200期日6,500
11/21 (火)	▲ 500	▲ 1,000	▲ 1,500	社債買入		1,000	1,000	▲ 500	
11/22 (水)	▲ 500	▲ 14,000	▲ 14,500	全店共通	▲ 6,600		▲ 6,600	▲ 21,100	20Y発行▲12,000 交付税借入▲13,000償還13,000
11/23 (木)	勤労感謝の日								
11/24 (金)	▲ 1,000	5,000	4,000				0	4,000	
週間合計	▲ 2,100	▲ 15,300	▲ 17,400	—	29,400	1,000	30,400	13,000	

11/20は日銀予想、11/21以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、大手行の動向にも大きく左右されるが、引き続きビッドサイドの調達ニーズが旺盛なため、レートは比較的高い水準での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、▲0.18～▲0.08%のレンジでの推移が予想される。短国市場は、24日に3M物の入札実施が予定されている。また、21日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、例年11月後半に賞与の支払い等の理由から、事業法人の発行需要が高まるため、発行動向が注目される。

主要なイベントは、国内では24日に10月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、21日に10月の米中古住宅販売、22日に10月の米耐久財新規受注などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入